

子どもたちに遊ぶ空間を

様々な年代の子どもが触れ合う機会が少ないと感じたため、子どもたちが中心の「何をしてもよい」という空間を作ってみようと思った。

チーム

パイナップル

企画を考えたきっかけ

- ・ 自分が小さいとき、**お兄さんやお姉さんたち**とあそぶことがとてもたのしかった！
- ・ 今の**小さい子たち**にも同じ楽しみを味わってほしい！

対象とする子供とは？

中高生

小学校低学年

今明らかになっていること

- ▶ 子どもたちだけで遊びに行けるところが少ない



- ▶ 中高生と小学生が遊んでいる姿を見ない



現状

遊ぶ時間が合わない
子どもたちだけで遊ぶのが危険という意識がある



中高生と小さな子供
たちが遊ばない。



休日に時間を決めて
計画する

自分たちで場所を調べて行動を起こそう！



どこになら子どもがたくさん集まるのか？



公共施設の公園に集まるのではないか！

公園について仕事をしている

静岡市 都市局 都市計画部 緑地政策課

- 公園にはルールが多い→やりたいことができるように調整
- 地元の企業が主体となって公園をもっと活用する
- 遊具やカフェを目的として公園に来ている人もいる



**公共空間を地域の人たちと協力して
行動を起こしてみよう！**

そこで！！

株式会社 ボクラノマチ 代表取締役
松木季代子さん



▶ 地域づくりって何？

人がイキイキしている状態

◆ **最高のイメージを考える**

◆ **自分の好きって気持ちを見つける**

静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・る
副館長 小澤京子さん

・子どもたちと接するうえで大切なこと

子どもたちと同じ
目線で考えること

自分たちができることとは？

公園で自分たちが実際に楽しそうに遊んでみることで、小さい子供たちが集まってきて一緒に遊べるのではないか。

また、高校生が企画することで中高生も集めたい！



やってみよう！

コロナ禍でもできるイベントとは？

- ・ オンライン化を使う



- ・ 広い空間を使う





企画1 青空おもちゃ箱

公園に遊ぶものをもって子供と遊ぼう！



自分たちが小さな子と中高生をつなぐ
役目を持つ！



1月31日、実施！！





青空おもちゃ箱



・来てくださった子供たちの年齢

- ▶ 6歳
- ▶ 7歳
- ▶ 4歳
- ▶ 8歳

・公園で遊んでいた理由

- ▶ 縄跳びの練習
- ▶ おさんぽ
- ▶ 芝生目的

公園で子供を遊ばせることについて

<メリット>

- ▶ のびのび遊べる
- ▶ 体を動かせる
- ▶ お互いのストレス発散

<デメリット>

- ▶ 知らないことけんか、怪我をさせてしまうことも
- ▶ 人数が多いと気を遣う

保護者の方たちの意見

- ◆子供たちが楽しそうだった
- ◆一緒に遊んでくれてありがたかった
- ◆中高生たちが考える遊びは、子供たちと感覚が近くてよかった
- 遊んでいる子供たちの名前や年齢がわかると
もっとうい

まとめ

- ▶ この企画を実施することで、全年代の子供たちがかかわりあう機会をつくることができる！
- ▶ 静岡市のイメージアップにもつながるのではないか

ご検討よろしく申し上げます。